

8. Drag and Drop を使用して励起・蛍光取得領域を新規作成する。

Acquire にし、検索窓で<u>色素名</u>を入力すると、該当する蛍光色素が表示されます。 これらを下図 3 のように ドラッグすると、**励起波長 ④**および**蛍光取得領域 b**が自動設定されます。 (例は Alexa)



9. **シーケンス**を増やす ・・・8. と同様に設定する(例は DAPI を追加)



- ※ **画像取得時のスキャン方法** (3種)
 - Line: 撮影対象が動くライブイメージングに適した撮影方法(同時取得に近い)
 他のシーケンス波長に重ならないような設定が必要
 - 2. Frame: 励起波長や蛍光波長を変えながら、1 つの検出器だけを使用して複数の Channel の画像取得ができる。
 - 3. Stack Sequence は z スタックで使用 Z を先に撮って次のシーケンスへ (Frame)





18. 終了操作:

①レーザーを OFF にする

Configuration	Configuration メニューを開き、Laser Config を選択します。
Rice Config	TCS SP8 🗘 Configuration Acquire Process Quantify
ON になっているすべて *WLL の出力%は変更	このレーザーを OFF にします。 せずに OFF にします

Currently available Lasers		0
Adjust Laser Settings	WLL の%は変更しない	*
WIL: ON	• 85.00	%

- LAS X を閉じる。(図で OK)
- ③ PC を Shut down する。
- ④ PC が切れてから、キースイッチを反時計回りに 90 度回す。
- ⑤ レーザーの電源を切る。
- ⑥ 主電源を切る。

その他

レーザー使用中、「ピー」と連続音が鳴る時は、レーザーパワーが上がり過ぎている警告音 レーザーパワーを下げて、Gain で調整する。特に **HyD X** 検出器で鳴りやすくなっている。